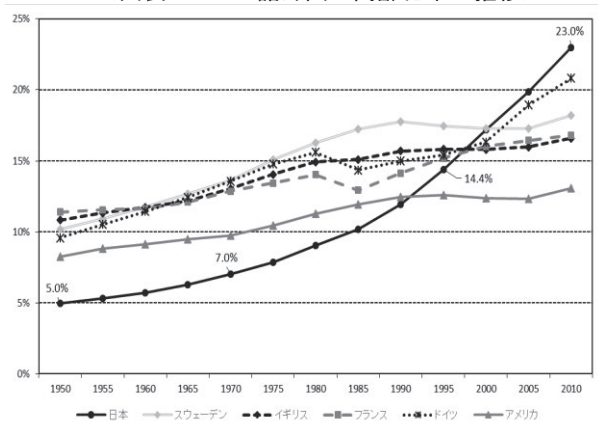


(備考) 総務省「人口推計」をもとに作成 (国勢調査による人口(年齢不詳の人口を各歳別にあん分して含めた。))

● 高齢化率の国際比較－日本の高齢化の進展は世界一速い

日本は1985年以降、急激に少子高齢化が進行し、2010年時点でドイツを抜いて世界1位の高齢化国となった。高齢化率が7%を超えると高齢化社会と言われるが、日本は1970年に7.1%で、その後も高齢化率は上昇し続け、1994年には14.1%となっており、7%台から2倍の14%台となるまでの期間は24年である。同様に国際比較するとドイツが40年、イギリスが46年、スウェーデンが85年、フランスが126年であり、日本の高齢化速度が非常に速いということがわかる。

＜図表 2-2-4 諸外国の高齢化率の推移＞



(備考) United Nations, World Population Prospects: The 2012 Revision をもとに作成